



— 節分祭・火焼(ほやき)神事 —

節分祭・平成28年2月3日

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

社報 あそみや

平成28年4月25日

第 65 号

発行所

阿蘇神社社務所
多良見町化屋862
☎ 0957-43-5235

淨明正直

阿蘇神社
宮司 大島 大明

く、たやすく、なおくという意味で、神社神道では心を表現する言葉として使用されます。この言葉をもとに、神職の資格である階位にも用いられ「淨階・明階・正階・權正階・直階」の五段階が定められています。

凡そ神は正直を以て先となし、
正直は清浄を以て本となす

鎌倉時代の末期に伊勢神道を大

成した度会家行(伊勢神宮の神官)は、清い心で淨い行いを続けることが正直の道を達成できるのであり、この正直の心こそが神に通じると説いています。

昨今その道で一流となつた人の不祥事が続いているように思いますが、夢を持ち、辛苦に耐えて練習した頃の心はどこに置き忘れたのでしょうか。悲しい限りです。神主として淨明正直の心の大切さを発信しなければと思つています。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、
明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと
一、世のため人のために奉仕し、
神のみこともちとして世をつくり固め成すこと
一、大御心をいたきてむつび和らぎ、
国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること



-豆打ちの儀-



-特設舞台での豆撒き-

引き続き本殿前の斎場では旧年中の御神礼・御守・破魔矢・熊手などを焚き上げる火焼神事(ほやきしんじ)が行われました。

三回目の豆撒き終了後、法被姿の神社総代が舞台上に上がり、餅撒きを行いました。まず総代会長が謝辞を述べ、その後総代全員で一年間の開運招福を願った餅撒きを行いました。一年間の福を込めた餅は、紅白の小餅で毎年一年間の日数分が用意されます。今年は閏年のため三六六袋が、開運招福の願をこめて撒かれました。

節分祭の諸行事を行うに当た

り、準備から後片づけまで総代会

・商工会関係者にはご苦労をお掛けしました。また福豆の景品を提供や、運営のための協賛金など多くの商店・商社のご協力をいたしました。ご慰労とお礼を申し上

り一年間の福を求める参拝者で境内は大いに賑わいました。午後五時 殿内で氏子崇敬者の一年間の開運招福を祈る「節分祭」が斎行されました。宮司の祝詞奏上に続々神社総代が玉串を捧げて挙式を行いました。

阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日に斎行されました。風もなく、穏やかな天候に恵まれ、町内外より一年間の福を求める参拝者で境内は大いに賑わいました。

午後九時まで行われ、多く



の参拝者が燃えかかる火に向かって手を合わせていました。

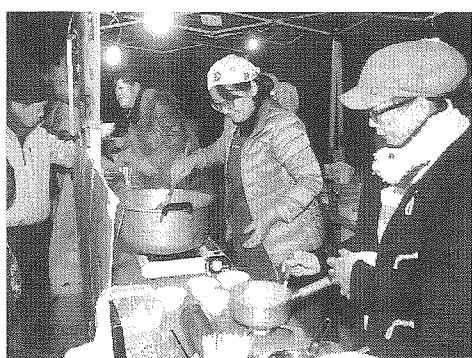
豆撒き行事では、申(サル)歳生の年男・年女が三回に分かれて豆撒きを行いました。今年はV・ファーレン長崎のマスコット「ヴィイくん」が豆撒きに参加、会場から大きな声援を受けていました。

境内には多良見町商工会の青年部、女性部などの出店が並び阿蘇神社の節分祭は賑わいました。



-総代会の餅まき-

◇豆撒行事景品提供商社◇
順不同・敬称略
事務機のミヤジマ、株長崎スクラップセンター、はんセンターより、長崎産機サービス、居酒屋空知、アーサロン髪遊、遊膳きつき、(有)喜々津新聞販売センター



-出店は商売繁昌-

△節分祭への奉納△ 敬称略
・福豆 高城町 白岩豆店
・初穂料 八江利春、高松悟、
徳永廣治

げます。ありがとうございました。
今年は例年になく自動車が多かつたようですが、駐車マナーの悪い人があり、神社近くの皆様に迷惑をお掛けしたと報告を受けました。
お詫びを申し上げます。

山中板金、センターロード工業長
 崎、(有)森商会、(株)たらみ葬儀社、
 (有)グリーワーク、高屋設備、レツ
 カーセンターラー三根、(有)丸西自動車、
 (有)徳永自動車、坂口工務店、多良
 見住宅、井手陶器、大草自動車整
 備工場、(株)親和銀行、多良見支店、
 (有)みのる、たらみ住建、(有)菅原産
 業、(有)南部建設工業、かつこちや
 ん、(有)吾妻鮨、(株)ナカムラ、肉の
 丸徳、(有)みづほ、九州インテリア、
 松尾装業、おそうじ本舗、諫早店、
 森達暉行政書士、(株)溝上建装、レ
 ストラン松新、(有)クラウンドライ、
 カジュアル中華ひまわり、(有)普賢、
 写真室やまさき、おしゃれの店花
 椿、フラワーショップ花華、(有)モ
 ルアム、(株)マツヤ、R&R coffee
 Labo、(株)森開発、(株)森住宅、(株)
 八銀行 多良見町支店、たちばな
 信用金庫 多良見支店、寺尾電器、
 (有)丸創建材店、(株)タナカ自動車、
 マツシヨウ、もろおか薬品、森田
 薬品、木村装束店、お茶のたらみ
 園、ドリームパーク、(有)あじさい、
 (有)ピーシーラーニングシステムズ、
 スーパーあづま屋、(株)V・ファーリ
 レン長崎、(有)三伸電機、お菓子の
 あづま屋、阿蘇神社、以上

△節分祭特別協賛金奉納商社

(敬称略)

平成二十六七年 紀元祭を斎行！

関山祥一（長崎市）、(株)森開発、(株)

森住宅、(株)石橋工業、喜々津カン
 トリー俱楽部、(株)カステラ本家福
 砂屋多良見工場、(株)ききつ青果、
 スナックアロン、(有)多良見碎石、(有)南部建設工業、ヤマエ久野(株)長
 崎支店、(株)唐草、中村医院、大
 石ボディ、(有)徳永自動車、西部ガ
 スエネルギー(株)長崎支店、(株)アサヒ、(有)後田塗料商事、黒木建設(株)
 松尾装業、アルファ印刷、アポロ
 カーズ、慈恵病院、(有)森商会、(有)やまぐち住建、(株)溝上建装、共栄
 機械工事(株)九州支店、総合アルミ、
 (株)吉川金属商事、竹迫整形外科、松屋眼科医院、たか動物病院、(有)
 喜々津新聞販売センター、多良見
 住宅、(株)小島工作所、(有)あづま屋、
 (有)菅原産業、(有)もろおか薬品、山崎活魚店、やの皮ふ科、イヌオ胃
 腸科外科医院、喜々津美容室、(株)
 雄苑、ますだ小児科内科医院、
 大久保クリニック、徳永建設(株)
 信太郎、吉野徹、松尾清人、大
 久保治賢、浦嶋政美、前川功郎、西平隆、内村典秋、中路
 徹、松森恒一、徳永廣治、嶋田彌
 八郎、岩本勲、関山雅孝、前田
 高柳秋雄、峰誠一郎、村瀬健一
 ャ津三曲会・松尾祥吉・北島守幸
 ・木下政儀・溝上泰治、白石幸男、
 参列者の誰もが尺八の心地よい音

喜々津三曲会・吉見哲山会長会員
 五名により尺八の奉納演奏が行わ
 れました。先ず「越天樂」続いて
 「八千代」と二曲を神前に奉奏、
 参列者の誰もが尺八の心地よい音



- 尺八の奉納演奏 -

△初穂料△

多良見漁協組合長 木下和幸・喜
 ャ津三曲会・松尾祥吉・北島守幸
 郎、西平隆、内村典秋、中路
 徹、松森恒一、徳永廣治、嶋田彌
 八郎、岩本勲、関山雅孝、前田
 高柳秋雄、峰誠一郎、村瀬健一
 ャ津三曲会・松尾祥吉・北島守幸
 ・木下政儀・溝上泰治、白石幸男、
 信太郎、吉野徹、松尾清人、大
 久保治賢、浦嶋政美、前川功
 介、J A長崎西彼喜々津支店長
 矢野祐
 森 浩幸、たちばな信用金庫多良
 見支店長 中村哲也 以上

敬称略・順不同

次に尺八を伴奏として「紀元節の
 歌」を参列者全員で齊唱、最後に
 総代会長 評議員代表に続き参列
 者が順次玉串を捧げ拝礼を行い、
 祭典を終了しました。祭典終了後
 は社務所に移動して直会を催し、
 建国記念日を祝いました。

紀元祭に際し以下の通り初穂料
 ・奉獻酒を賜りました。ご芳名を
 記しお札を申し上げます。

色に酔いしれた様子でした。

平成二十六七年

歌」を参列者全員で齊唱、最後に
 総代会長 評議員代表に続き参列
 者が順次玉串を捧げ拝礼を行い、
 祭典を終了しました。祭典終了後
 は社務所に移動して直会を催し、
 建国記念日を祝いました。

平成二十六七年 紀元祭を斎行！

色に酔いしれた様子でした。

平成二十八年「歌会始」御題「人」

御製

戦ひにあまたの人の失せしとふ

皇后陛下御歌

島緑にて海に横たる

夕茜に入りゆく一機若き日の

吾がごとく行く旅人やある

新春恒例の「歌会始」の御儀が

一月十四日午前皇居・正殿「松の

間」でおこなわれました。今年は

国内外から一八、九六二首の詠進

歌が寄せられたそうです。

宮中の新年行事の最後を締めく

くる「歌会始」に一般の詠進が認

められたのは明治七年、特に優れ

たものを選歌として披講されるよ

うになつたのが明治十二年、現在

のような「歌会始」の形に定着し

たのは、昭和三年からといわれま

す。皇室と国民を繋ぐ「歌会始」

に参加してみませんか。

次の場合には失格となります。
 ①お題を詠み込んでいない、短歌
 の定型でない、用紙が縦長の場合、
 ②一人で二首以上詠進した場合、
 毛筆でない場合。
 ③すでにに発表された短歌と同一、
 または著しく類似する場合。
 ④詠進歌を歌会始の行わる以前
 に新聞、雑誌その他の出版物・添え
 文などしてみませんか。

四、賀郵便のあて先
 平成二十九年の歌会始のお題は
 「野」ですが、「野」の文字が詠
 進されていなければ、「野火」「視野」
 にしても差し支えありません。
 お題を詠み込んだ自作の短歌で

◇総代会たより◇
 神社総代が左記のとおり異動しました。(敬称略)

◎化屋地区 吉野徹

↓ 北島勝幸

○木床地区 前川功

↓ 岩本勲

大久保治賢

↓ 森秀人

※退任は三月三十一日附で、
 新任は四月一日附です。

一、奉獻酒 一、鏡餅一重
 一、蜜柑枝 中村
 初穂料 森永孝次 藤男
 樹德永建設 德永孝次 殿
 松尾興一郎 殿 晋 殿
 太田商店 殿 森中村 殿
 江崎譲一殿 藤晋 殿
 石丸義雄 殿 森中村 殿
 岩谷 殿 森中村 殿
 ビデオスタジオ いちむら殿 殿

年末年始に以下の通り奉納を賜りました。篤く御礼を申し上げます。また毎月境内の清掃をしていただく老人会誠会の皆様に感謝いたします。

五月一日に新旧の総代を招集し、平成二十八年度第一回総代会が開催されました。会議では役員の改選、平成二十七年度の決算書及び收支報告書の審議、「境内改修工事」の工事の経過と净財募金の中間報告など多岐に亘つて協議を行いました。平成二十八年度の阿蘇神社総代会の態勢は次のとおりです。

◆あとがき◆
 四月十四日午後九時二十六分に熊本県を震源とした大地震が発生した▼震度は七、マグニチュードは六・四と伝えられた▼多良見町の震度は四だったらしいが、地震の恐ろしさを実感した▼一ノ宮の櫓が石垣と共に崩壊している。▼御本社阿蘇神社では国の重要文化財指定の楼門が倒壊、拝殿も全壊した。熊本城でも国の重文である櫓が石垣と共に崩壊している。▼の沈静化を祈りたい。

一、お題を詠み込んだ自作の短歌は小さく折つて封入
 二、詠進要領
 ①お題を詠み込んだ自作の短歌で